

ひょうご部落解放・人権研究所

HB 通信

Hyogo Buraku Liberation and Human Rights Research Institute

編集・発行 /

社団法人 ひょうご部落解放・人権研究所

〒650-0022

神戸市中央区元町通 6-7-10

元町関西ビル 4階

TEL:078-367-8925 FAX:078-367-8924

e-mail:blrhyg@osk3.3web.ne.jp

URL:http://www3.osk.3web.ne.jp/~blrhyg/

部落解放研究第30回兵庫県集会

部落解放運動の歴史をいしずえに人権社会の実現を

— 『人権救済法』の早期制定と、狭山事件の再審を実現するために—

開催にあたって

部落解放研究第30回兵庫県集会実行委員会
会長 大谷 強

今年の研究集会は30回目にあたります。先人たちがこの研究集会に込めた崇高な熱意と、注いだ多くの労苦を振り返り、現在到達している地点がはたして当初の理念をどこまで実現しているかどうかを検証するときです。もし実現していないとすれば、どこが大きく変わったのかも検証する必要があります。その意味でテーマも「部落解放運動の歴史をいしずえに人権社会の実現を」としました。部落解放と人権に関わる多様な経験を持っていらっしゃる人々が、それぞれの運動経験を城崎の地で、熱意を持って語り合いたいと思います。

今年は被差別部落に継承される「文化」にとくに焦点をあてたいと思っています。もちろん、研究集会では全ての分野が重要ですが、いわゆる文化については、私たちが誇ってよい内実を持っています。それは、過去の歴史だけではなく、現在においても将来にわたっても、それぞれの時代で多くの人たちに深い感動を与えるでしょう。しかも、ここでいう「文化」は抽象的なものではなく、地域における生活の隅々に密着した特徴を持っています。

地域におけるさまざまな人々が創りあげた足跡という意味では、歴史もやはり広い意味では文化と呼んで差し支えないでしょう。いまの人々や将来の人々にもひき継ぐべき良い文化を育てる必要があると思います。また、私たちは地域の人々が互いに創りあげたこれまでの生活を、人権社会をめざし、今後さらに新しく創りかえる作業も重要でしょう。

研究集会を私はこのように考えます。今年の研究集会をきっかけに、未来をより良き社会に創りあげる運動としてぜひ役に立ててほしいものです。弾むような活発な討論を期待しています。

2009年8月

主催:部落解放研究第30回兵庫県集会実行委員会

開催日:2009年10月3日(土)~4日(日)

場所:城崎大会議館大ホールほか

費用:参加費3500円(当日資料・報告書など)

宿泊費13000円(1泊2日/夕・朝食費を含む)

申込・問い合わせ:参加・宿泊は9月18日(金)までに、

ひょうご部落解放・人権研究所にお申し込み下さい。

TEL:078-367-8925 FAX:078-367-8924 E-mail:blrhyg@osk3.3web.ne.jp

※開催要項・参加申込書は当研究所HPよりダウンロードできます♪

(次項へ続く)



10月3日 (土)

■特別報告 11:20 ~ 11:30

『「兵庫県被差別部落の女性実態調査」について』
報告者:竹本貞雄(ひょうご部落解放・人権研究所事務局長)



■記念講演 11:30 ~ 13:00

『部落解放運動のかなたへ』 講師:高山文彦

●講師プロフィール

1958年3月、宮崎県高千穂町生まれ。作家。
「部落解放の父」松本治一郎の生涯を描いた『水平記』(新潮社)、小説家中上健次の生涯を描く『エレクトラ』(文藝春秋)、部落解放同盟中央執行委員長組坂繁之氏との対談集『対論 部落問題』(平凡社新書)など著書多数。

■フィールドワーク 14:00 ~ 17:30

『但馬・在日朝鮮人の足跡』
餘部鉄橋、桃観トンネルなど、植民地支配下、過酷な労働を強いられた朝鮮人労働者の足跡を訪ねます。
講師:徐根植(兵庫朝鮮関係研究会会長)
※事前申込、別途交通費 1000 円が必要です。
(定員 40 名)

■ワークショップ 14:00 ~ 17:30

『被差別部落の伝統文化にふれる』
日本の芸能や文化、産業の発展に被差別部落が担ってきたものは少なくありません。受けつがれてきた文化を体験し、被差別の歴史を考えます。【わら(布)ぞうり/竹細工づくりなど】
※事前申込、別途材料費 300 円が必要です。
(定員 30 名)

■分科会 14:00 ~ 17:30

1. 兵庫における解放運動 50 年と明日への課題
2. 情報化社会の「人権侵害」
3. 子どもたちの学習権保障
— 進路保障とこれから —
4. 「貧困」は何を生み出し何を残すか
5. 「人権教育」「人権啓発」
— 内容の充実を求めて —

■学習会 14:00 ~ 17:30

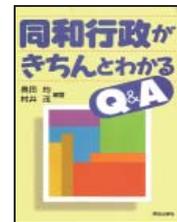
- I. 兵庫県で障害者条例づくりを
講師:崔栄繁(DPI 日本会議事務局員)
- II. 部落の伝承文化に学ぶ
講師:中尾健次(大阪教育大学教授)
高木伸夫(ひょうご部落解放・人権研究所研究員)

10月4日 (日)

■シンポジウム 9:30 ~ 12:00

『同和行政は今』

パネリスト:奥田 均(近畿大学人権問題研究所教授)
平田武二(自治労宝塚市職員労働組合執行委員長)
細田 勉(部落解放同盟兵庫県連合会副委員長)



同和対策事業にかかる法律や施策が 2002 年に期限切れとなりましたが、部落差別は解消されていません。国や自治体の多くは、部落に関する実態調査を行わず「人権意識調査」などで糊塗している状況です。同和行政には今、なにが求められているのでしょうか。『同和行政がきちんとわかる Q & A』の編著者・奥田均さんとともに、それぞれの立場から意見を交わします。

部落解放研究第 30 回兵庫県集会実行委員会 構成団体

部落解放同盟兵庫県連合会 / 社団法人ひょうご部落解放・人権研究所 / 部落解放兵庫県民共闘会議 / 日本労働組合総連合会兵庫県連合会 / 兵庫同和・人権問題企業連絡会 / 同和問題にとりくむ兵庫県宗教教団連絡会議 / 障害者問題を考える兵庫県連絡会議 / 兵庫部落出身教職員の会(礎友会) / 兵庫県在日外国人教育研究協議会 / 財団法人神戸学生青年センター

新着図書

5月

- 『2008 年度部落史連続講座 講演録』(京都部落問題研究資料センター、2009.3)
- 『第八章 地域社会の変動 第二節 身分差別の形成と展開』(安達五男著、『姫路市史』第4巻本編近世2、2009.3 抜刷)
- 『地球温暖化 / 人類滅亡のシナリオは回避できるか』(田中優著、扶桑社、2007.6)
- 『たべものがたり—食と環境 7 の話』(Think the Earth プロジェクト編著、ダイヤモンド社、2009.3)
- 『県民の人権意識—平成 20 年度 人権に関する県民意識調査結果の概要—』(兵庫県健康福祉部企画少子局人権推進課 / 兵庫県人権啓発協会、2009.3)
- 『人権に関する県民意識調査 調査結果報告書』(兵庫県健康福祉部企画少子局人権推進課 / 兵庫県人権啓発協会、2009.3)
- 『アジア女性自立プロジェクトのめざすフェアトレード…女性のハンドクラフト』(アジア女性自立プロジェクト[AWEP]、2009.3)
- 『ひょうごの児童相談』(兵庫県中央こども家庭センター、2008.7)

6月

- 『被差別民の長崎・学 貿易とキリシタンと被差別部落』(阿南重幸編著、長崎人権研究所、2009.3)
- 『大地の記憶—築城の労苦と藩政—』(ヒューマンライツの会ささやま、2009.3)
- 『国連と日本の人権—NGO から見た普遍的定期審査』現代世界と人権 22 (反差別国際運動 / 反差別国際運動日本委員会編、反差別国際運動日本会議[IMADR - JC]、2009.4)
- 『だれにも故郷はあるもの—在日朝鮮人とわたし』(徐勝著、社会評論社、2008.11)
- 『環境と差別のクリエイティブ 屠場・「不法占拠」・部落差別』関西学院大学研究叢書第 126 編(三浦耕吉郎著、新曜社、2009.3)
- 『部落史研究からの発信』第 2 巻(近代編)(黒川みどり編著、部落解放・人権研究所、2009.6)
- 『部落史研究からの発信』第 3 巻(現代編)(友永健三・渡辺俊雄編著、部落解放・人権研究所、2009.7)
- 『'08 ~ '09 釜ヶ崎キリスト教協友会 よまわりガイドブック』(釜ヶ崎キリスト教協友会)
- 『こどもよまわりだより 2007 年度越冬』(カトリック大阪大司教区こどもの里)
- 『2007 年度事業報告書』(カトリック大阪大司教区こどもの里)

7月

- 『第 14 回兵庫県連女性部大会 部落解放第 49 回兵庫県女性集会討議資料』(部落解放同盟兵庫県連合会、2009.7)

8月

- 『一九五四年夏 はりま—相生事件を追う—』(こちまさこ著、北星社、2008.7)

♪ 研究所のご近所さん ♪

『ネルドリップ珈琲カフェ・ハル』



今回ご紹介するのは、研究所から徒歩5分、阪急花隈駅西側にある『ネルドリップ珈琲カフェ・ハル』。ハルさんの“大スキ”が詰まった、こぢんまりとしたかわいらしいお店。カウンターの奥には素敵なお杯&ソーサがずらり。

注文したのは、『やわらか煮込みハンバーグライス (980 円)』。雑穀ごはんの上に、ごぼう・玉ねぎ・しめじ…、野菜をたっぷり煮込んだトマトソースとふわっふわのハンバーグ。細かく刻まれたピクルスと、きわめつけに半熟の目玉焼きがのっかっている。

とろとろの黄身とハンバーグが最高の相性

(* > _ < *) 雑穀ごはん
とまぜて、口の中でおい
しさ倍増です♪

食後のコーヒーは、ネルドリップ方式で一杯ずついていねいに作ってくれるもの。慣れたハルさんの手つきを見てるだけで、のほほんとした幸せなきもちになります☆



時間を忘れる空間に、おなかも
こころもなごまされて、大満足♪
ぜひ、一度お立ちよりください☆

営業時間
平日 8:00 ~ 20:00
(morning ~ 11:00)
土日祝 10:00 ~ 18:00
(morning ~ 14:00)
定休日→水

〒650-0012
神戸市中央区北長狭通り
7丁目1-8
tel 078-341-4620

【アクセス】阪急花隈駅西口
を出て右手、最初の横断歩
道を渡って約 30 m

人権歴史マップ 播磨版 編集中！！

♪乞うご期待♪

当研究所では、兵庫県内をいくつかの地域に分けて、部落問題をはじめとするさまざまな人権に関する歴史をまとめ『人権歴史マップ』として刊行する事業をおこなっています。現在まで神戸版、丹波版、阪神版を刊行してまいりましたが、現在、播磨版を編集中です。ご期待ください。いずれも人権啓発、フィールドワークなどに広くご活用いただける1冊です！

CONTENTS(仮)

- 道満塚と晴明塚(佐用町)
- キリシタン大名・高山右近(明石市)
- 朝鮮の大儒姜沆の名を刻む供養塔(太子町)
- 室津と朝鮮通信使(たつの市)
- 大鳥圭介と明治の日本(上郡町)
- 青野原俘虜収容所(加西市)
- 加古郡別府村騒擾事件(加古川市)
- 昭和池築造と工事犠牲者慰霊塔(加東市)
- 相生、ペーロンの歴史と強制連行(相生市)
- 小野市・差別合併糾弾闘争 ―三〇日間の闘い(小野市)
- 車椅子の視点から見る「姫路城」―平成の大修理に当たって(姫路市)



他多数

大阪・奈良「人権のふるさと」スタディツアー

お急ぎください！

- とき:2009年10月10日(土)～11日(日)
- 参加費:10,000円(宿泊費、夕食交流費、弁当代【1日目】等)
- 申込期限:8月31日(月)必着

10日(土)

- 9:15 JR神戸駅南ロータリー集合
- 10:30 リバティおおさか(大阪人権博物館)
- 14:00 水平社博物館・フィールドワーク
- 18:30 夕食交流会【千輪荘】(奈良県橿原市)



大阪人権博物館



水平社博物館



水平社博物館



大阪人権博物館

11日(日)

- 10:00 おおくぼ町づくり館
- 12:00 明日香村自由散策
- 17:00 JR神戸駅着・解散

申込・お問合せ

「人権教育ひょうご」事務局
 兵庫県教職員組合 教文部【担当:北谷】
 TEL:078-241-2345 FAX:078-242-5569

平成21年度兵庫県舞台芸術団体フェスティバル参加事業 劇団道化座第14次訪中公演記念

シリーズ《家族》I 「オハヨウ、母さん！！」 作/渡辺鶴 演出/須永克彦
にぎやかに繰り広げられる道化座流「家族の愛」の物語!!

日時:9月19日(土)19:00(開場30分前)
 会場:兵庫県立芸術文化センター阪急中ホール
 (阪急西宮北口駅すぐ)



—お問合せ—

兵庫県劇団協議会 劇団道化座
 TEL:078-803-2458
 FAX:078-803-2459
 E-mail:dougeza@kcc.zaq.ne.jp
 http://www.kcc.zaq.ne.jp/dougeza

料金

- 【前売】 一般 ¥4000
- ユース・シルバー(25歳以下・65歳以上) ¥3000
- 中高生 ¥2000
- ペア券(2名) ¥5000※前売のみ
- 【当日】各 ¥500円追加